

予算決算常任委員会委員長報告

去る12月3日の本会議において、議長から本委員会に付託されました案件は、議案2件です。議案につきましては、各分科会におきまして慎重な審査を行い、各分科会会長から報告を受けた後、報告に対する質疑、討論、採決を行いました。以下、審査の経過と結果について順次報告いたします。

記

- 1 審査年月日 令和3年12月17日(金)
- 2 場 所 議 場
- 3 出席委員 今関公美、湯沢美恵、桜井 卓、村田裕子、
金森すみ子、岡村有正、松島修一、日高英城、
高橋伸治、中村洋子、保角美代、渡邊良太、
滝瀬光一、諏訪善一良、大嶋達巳、島野和夫、
岸 昭二、加藤勝明、黒澤健一

4 審査結果

「議案第77号」令和3年度北本市一般会計補正予算（第10号）については、挙手全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第78号」令和3年度北本市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）については、挙手全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◎「議案第77号」について

初めに、総務文教分科会会長報告の内容について申し上げます。

(1) 現在保有しているタブレット端末30台の使用状況と追加整備する20台の配置予定についての質疑に対し、「現在保有しているタブレット端末30台の使用状況については、新型コロナウイルスワクチン接種担当で15台、ウェブ会議や研修用で5台、障がい福祉課手話通訳用で1台、予備で9台となっている。新たに配置する20台を含めた配置予定については、新型コロナウイルスワクチン接種担当

に15台、ウェブ会議や研修等用に10台、障がい福祉課手話通訳用に1台、ペーパーレス会議用に20台、テレワーク用に4台を想定しており、新型コロナウイルス感染症の収束後は、ますます需要が高まりつつあるウェブ会議での活用や、テレワークでの活用を考えている」とのことでした。

(2) 南小学校屋外階段改修事業の入札が不調となった要因と今後の対応についての質疑に対し、「南小学校屋外階段改修事業については、2回の入札を実施しており、1回目については、市内業者6者で入札を実施、2回目については北本県土整備事務所管内に範囲を広げて10者で指名競争入札を実施した結果、2回とも不調となった。要因については、時期の問題や工事の内容、金額等によるものがあると考えられる。今後については、設計を見直した上で、年度末から年度当初の実施に向け、入札の準備を進めたいと考えている」とのことでした。

(3) キャリア・チャレンジの中止に伴い教育運営経費が減額されているが、代替事業の実施についての質疑に対し、「キャリア・チャレンジについては、できる限り実施する方向で検討したが、新型コロナウイルス感染症による影響で十分な受入れ先の確保ができず中止した経緯がある。代替事業については、キャリア講演会等を実施するほか、教員による日常的な進路・職業指導で対応しているところである」とのことでした。

次に、健康福祉分科会会長報告の内容について申し上げます。

(1) 乳児用品貸出業務が令和5年度までの債務負担行為として計上されている理由とその限度額の積算根拠についての質疑に対し、「令和4年度からの実施に向け、今年度中に契約をする必要があるため、令和3年度からの債務負担行為としているが、ベビーベッドの貸出期間は6か月となっていることから、令和4年度下半期に貸し出した場合、期間終了が令和5年度上半期になるので、令和5年度までの3年間で設定している。また、積算根拠については、年間で150台の貸出、1台当たり税別7,500円を見込み、123万8,000円を計上した」とのことでした。

(2) 住居確保給付金の申請状況と増額補正の内容についての質疑に対し、「令和3年度は10月末現在で延べ15人の申請があり、約368万円の支給決定をしている。令和2年度は32人の申請で約430万円の支給決定をしているので、比較すると人数は若干少ないが、支給金額は大きくなっている。今回補正する額は、単身世帯の方が11人、3万7,000円を平均4か月程度受給することを見込んでいる」とのことでした。

(3) 保健衛生総務費の運営負担金の内容と、今回補正予算計上することになった経緯についての質疑に対し、「小児初期救急医療及び小児二次救急医療はいずれも休日夜間の対応ができていなかったが、上尾中央総合病院や北里大学メディカルセンター等との話し合いを通じ、令和4年1月9日以降、12日間ある日曜日について、対応できるという見込みが立ったので実施するものである。休日夜間の小児救急体制は懸案事項として各市町と医師会等との間でも共通の認識があったが、医療機関の負担を考え拡大に踏み切れなかったところ、今回、埼玉県調整があり、埼玉県立小児医療センターから小児科医を派遣していただけることになり、日曜夜間の拡大が実現した」とのことでした。

次に、建設経済分科会会長報告の内容について申し上げます。

(1) 稲作経営次期作支援補助金の申請方法及び国や県からの補助についての質疑に対し、「対象となる方に市から直接申請書を郵送して申請をしていただく。また、財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する」とのことでした。

(2) プレミアム付商品券クーポン型事業の実際の執行額及び経済効果についての質疑に対し、「予算総額は令和2年度予算、令和3年度へ繰り越した予算及び今年度補正予算の合計1億2,927万1,000円で、執行額は1億1,820万1,500円であった。また、経済効果については、1,000円の支払いにつき500円のクーポン券1枚利用可能となっているため、少なくとも執行額の2倍、額にして2億3,640万3,000円の経済効果があったものと考えている」とのことでした。

(3) 商工振興費の令和3年度当初予算840万円のうち、今回720万円を補正減するが、差引120万円の執行状況についての質疑に対し、「宵まつりの代替事業である「よいとまプロジェクト2021」で執行しており、具体的には、ねぷた絵の展示として北本駅東西通路にLEDパネルの掲示で30万円、また、北本駅西口の歩道にある街路灯にアクリル製の筒の設置で90万円となっている」とのことでした。

なお、各分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

◎「議案第78号」について

(1) 保険給付費等交付金償還金133万9,000円を増額補正する理由についての質疑に対し、「新型コロナウイルス感染症への対策として実施した、国民健康保険税の減免に係る国の災害等臨時特例補助金の返還金約128万円と、特別調整交付金の返還金約5万9,000円によるものである」とのことでした。

なお、健康福祉分科会会長報告に対する質疑はなく、討論もありませんでした。

以上報告いたします。

令和3年12月21日

予算決算常任委員会
委員長 黒澤健一

北本市議会議長 工藤日出夫様